

各カテゴリーでの練習及び試合等についてのガイドライン

令和2年7月18日

宮崎県ラグビーフットボール協会

●練習について

- ・7月中旬以降から日本協会のガイドラインにある、「コンタクトプレーの段階的準備」に準じて、段階的な練習計画を立て実施すること。
- ・練習前の健康状態（検温・発熱などの風邪症状）を確認し、体調不良者は練習の参加を見合わせて自宅で休養するよう指導すること。
- ・水分補給の際にはソーシャルディスタンスに配慮して、コップ等の共有や回し飲み等を避けること。
- ・練習およびミーティングは必ず屋外とし、やむを得ない場合はソーシャルディスタンスを遵守し、マスクの着用や手指等の消毒をすること。
- ・練習参加者の氏名を日誌等に記録し、最低1か月は保存管理すること。
- ・練習中の選手のマスク着用は、熱中症等に留意して外しても構わないが、指導者については必ずマスクを着用し、指示や注意をする際はソーシャルディスタンスを遵守すること。
- ・ラグビースクール等で保護者が生徒の送迎をする場合は極力駐車場までとし、コーチでない保護者は練習に参加しないこと。
また、その保護者の氏名等、連絡先を把握すること。

●合宿について

- ・県内のみとし、7月中の宿泊を伴う合宿については自粛すること。
- ・ただし、8月1日から県内での宿泊を伴う活動（合宿等）を認める。

実施にあたっては、生徒の健康観察（検温や体調の把握）を徹底すること。

また、保護者の理解を得ること。

●練習試合について

- ・コンタクトプレー等の練習計画を立て、十分な練習を積み重ねて試合に臨むこと。
- ・主に県内のチーム同士での練習試合とし、県外チームとの練習試合は行わないこと。
- ・県内でも宿泊を伴う練習試合は行わないこと。
- ・試合前には必ず体温測定などの健康状態を確認し、体調不良者の参加は認めないこと。
- ・水分補給の際には、コップ等の共有や回し飲み等を避けること。
- ・練習およびミーティングは必ず屋外とし、やむを得ない場合はソーシャルディスタンスを遵守し、マスクの着用や手指等の消毒をすること。
- ・試合参加者の氏名を日誌等に記録し、最低1か月は保存管理すること。
- ・指導者については必ずマスクを着用し、指示や注意をする際はソーシャルディスタンスを遵守すること。
- ・保護者が生徒の送迎、観戦する場合は、その保護者の氏名等、連絡先等を把握するとともに、マスクの着用、消毒、ソーシャルディスタンスの遵守を徹底させること。

●大会について

- ・日本協会のガイドラインに準じて8月末以降から大会開催を認める。

- ・ただし、今後の新型コロナウイルスの感染の状況次第では中止又は延期とする。
- ・各カテゴリーで大会開催にあたり、ガイドラインを作成、徹底させること。

●報告について

- ・新型コロナウイルス感染が発生した場合は速やかに安全対策委員長に報告すること。
- ・感染以外でも、脳震盪などの重傷事故が発生した場合は速やかに報告すること。

●保護者の同意について

- ・未成年者の場合、全ての場合において、保護者の同意を得ること。

●関係機関からの通達について

- ・関係各団体（県教育委員会、県スポーツ協会、県スポーツ振興課、高体連、中体連等）や日本協会及び九州協会から通達のあったガイドラインが変更になった場合は、県協会が協議した判断基準を各カテゴリーの委員長に通知する。
 - ・このガイドラインは7月18日付より有効とする。
- ただし、今後の新型コロナ感染症状況を判断し、その都度変更して通知する。